

日本赤十字兵庫県支部「例会」ホスト校として、防災・減災の活動報告、お菓子ポシェット、ソーラークッカー作りを実施。(4月23日)



3年生7人、2年生3人、1年生1名参加！

●今回初めて「赤十字」の式典に参加しました。名前は知っていたものの具体的な内容は知りませんでしたが、考えていた以上に興味深いものとなりました。印象に残っていることは「赤十字の活動はみんながみんなのためにやるものだ」という言葉です。利益のために行うものではなく、相手への思いやりから生まれたもので、戦争や災害、献血など幅広い場で活躍しており、今や私たちの生活に欠かせないのだと学びました。

私たちの活動報告と共に、お菓子ポシェットやソーラークッカーを共有し広めていくことで、楽しく簡単に防災を学ぶことができ、その空間を利用して、顔見知りの関係に発展し、コミュニティの輪が広がっていることの魅力を感じることができました。

私たちに襲いかかる大きな災害は南海トラフだと言われています。そのために今私ができること、起こった後に私たちができることを改めて考える良い機会となりました。赤十字だけでなく様々なボランティアにもまた参加したいです。

●今回、加盟式及び例会に参加させていただき貴重な経験をすることができました。ちょうど1年前、主管校として大きな役割を担うこととなり、やってやるぞという強い思いと責任の重さを感じ、不安な準備期間を過ごしました。当日は「災害時の心のケア」の講演を聞き、普段何気なくやっている傾聴や共感などは決して特別ではないことを理解できました。また、私が目指す看護師像が明確となり看護師になりたいと強く思いました。

ワークショップでは一番心配していた時間管理も臨機応変に対応でき、無事やり遂げることができました。しかし、司会として全体を見渡しているとまだまだ未熟なところがあるなと思いました。もっと3年生が1、2年生のフォローにまわられたのではないかと感じました。防災減災班としての活動はこれで終わってしまいましたが、看護医療類型としてまだまだ成長していこうと思った日となりました。皆さんの協力あってこそその成功です。本当にありがとうございました。

●赤十字社兵庫県支部に赤十字の看護師さんや他校の方が集まってこれでの活動報告をしました。そして、本校が中心となってお菓子ポシェットとソーラークッカーの作り方を披露しました。3年生の発表を聞いてとても圧倒されました。私は、まだ発表する場に慣れておらず、人前に立つだけで緊張して足が震えるのに、3年生は、堂々とハキハキし、パワーポイントを使ってとてもわかりやすく伝えていました。発表を見て聞いて、「来年は私たちの番だけどしっかり発表できるのかな」と少し不安になりました。これから他のイベントに沢山参加して「成長できた」と思う1年にしたいと思いました。

●貴重な経験をすることができました。心のケア研修では災害時のストレス緩和のための方法やエコノミークラス症候群の予防運動を知ることができ、災害時における知識が新たに増えたのでとても良かったです。看護師さんのお話を聞き。私も災害時だけでなく日頃から患者さんに寄り添い患者さんに安心してもらえるような看護師になりたいと改めて思いました。グループワークでは本校生が中心となり、みんなが楽しみながら防災について考えることができていたので良かったです。先輩方の準備や説明のおかげでスムーズに進めることができ感謝しています。同じ高校生に教えることをしたことはありませんでしたが、今回やってみて良い経験になりました。この経験を活かしました参加したいです。